

令和4年11月25日

各 位

のと共栄信用金庫

令和4年度上半期業績を公表

3期振り最終減益

のと共栄信用金庫（七尾市／鈴木正俊理事長）は25日、令和4年度の上半期仮決算を公表しました。

資金利益の減少に加え、預かり資産関係手数料が伸び悩んだことから3期振りに減収減益となりました。経費の削減により投資信託解約益を除いた本業益が4期連続の増益となった一方で、コア業務純益が4期振りに減益に、また、与信費用が32百万円増加したことで、経常利益および最終利益は共に3期振りに減益となりました。

預金残高は、前期末（4年3月末）比2億7,500万円（0.08%）増加し、3,289億6,000万円となりました。法人および公金預金が減少する一方で、個人と個人事業者の預金は増加しました。また、低金利環境の長期化から、定期性預金から要払性預金へのシフトが続き、要払性預金が7期連続増となった一方で、定期性預金は5期連続の減少となりました。

貸出金残高は、前期末比6億3,500万円（0.35%）増加し、1,790億2,800万円となりました。事業性資金が25億8,500万円（2.22%）増加したものの、個人ローンは住宅ローンを中心に4億8,900万円（1.44%）減少し、地方公共団体向けも14億6,100万円（5.11%）減少しました。

不良債権額は、前期末比1億4,700万円（2.76%）減少し51億8,000万円に、不良債権比率も0.09ポイント改善し2.82%となりました。

また、自己資本比率は、前期末比0.45ポイント低下し12.90%となりました。

なお、通期では与信費用の減少により、減収増益を見込んでおります。

	経常収益	コア業務純益	経常利益	純利益
2022年 中間期	1,909 (▲4.1%)	297 (▲6.5%)	214 (▲14.6%)	125 (▲31.9%)
2022年 通期	3,818 (▲6.2%)	616 (▲14.6%)	313 (7.9%)	179 (7.8%)

金額：百万円、カッコ内は前年同期比：%、▲はマイナス、2022年通期は予測

以 上

（お問い合わせ先） 総合戦略部
TEL 0767-52-3450(代)